

(長岡京市) 自分ごと化会議 in 長岡京 第5回議事メモ

分科会	第2分科会 (防災・防犯)
コーディネーター	高澤 良英
ナビゲーター	なし
説明担当者 (自治体)	なし
日時	2021年10月30日 (土) 10時00分から12時30分
場所	開田自治会館
その他	参加者数 <u>10名</u> 欠席者数 <u>17名</u> (傍聴2名)

趣旨・概要

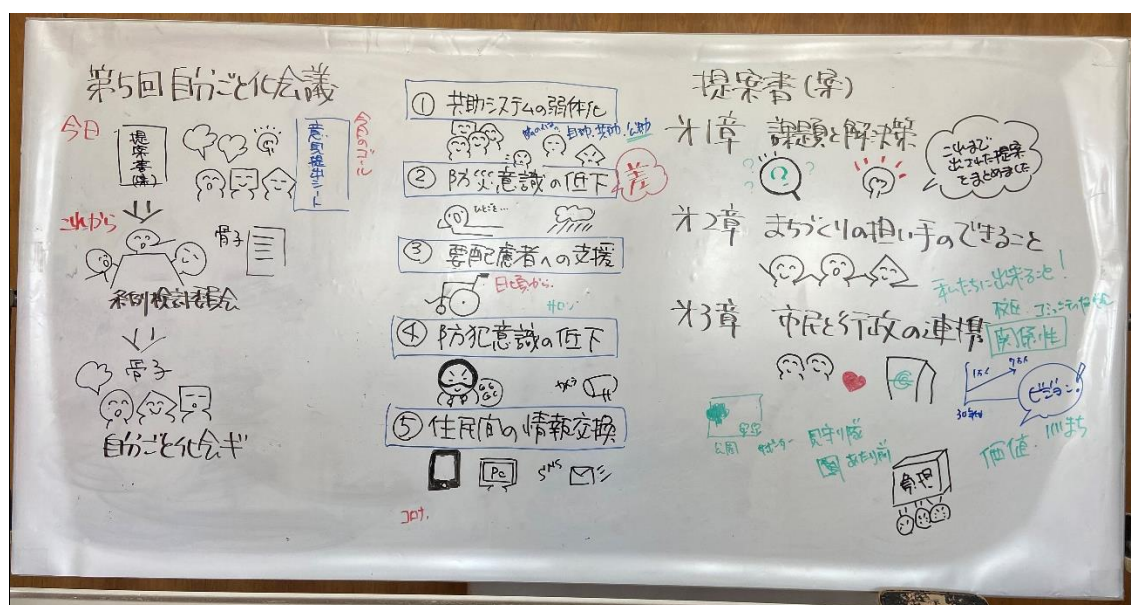
- 提案書(案)をもとに議論

主な論点

論点① 提案書(案)について

論点② 自分ごと化会議 前半戦を終えて

ホワイトボードの写真



協議の流れ

コ) 今回で 5 回目。これまでの議論を振り返りながら、班としての考え方・意見をまとめていく。

構想日本) 提案書の構成、今後のスケジュールについて説明。

コ) 共助システムの弱体化、自治会に入る必要性について意見が出ていた。同じ長岡京市の中でも防災意識に差があるというお話があった。要配慮者の話も多く出た。防犯では一戸一灯運動を続けていくことの大変さについて。情報交換の効率化についても意見をいただいた。漏れている意見や新たな意見をいただければ。

委) この会議に市議会議員はなぜ来ないのか。提案書は読んでいるのか？

市) 提案書は議員には渡していない。条例案を議会に提案する。開催情報の案内まではしていない。

委) 議員が仕事をしていないから、私たちが仕事させられているのか？この場で市民ニーズを把握しないのなら、議員としての仕事をしていないことになるのでは。

コ) 自分ごと化会議の開催情報は議員に知らせるべきかと思う。

委) 提案書は自治会の役員としても参考になるところが多い。何が足りないかはパッと言えない。市議が来ていないのは私も変だなと思う。災害について、30 年近く住んでいるが避難したことがない。「防災意識が低下している」というよりは、もともと意識があまりないのではないか。防犯については、行方不明になった高齢者が防犯カメラを活用して発見されている。犯罪は少ないので、防犯意識は他の自治体よりかは低いかもしれない。要配慮者については、一人住まいが多いので、災害時以外でも地域でどう見守っていくかが大きなテーマ。住民間の情報交換については、コロナで 2 年間行事ができていないので、ダメージを受けている。危機感を感じている。

委) ここに参加してから、防災情報にアンテナが立つようになり、自分の知識が増えて良かったと思っている。学んだことを活かしていきたい。

委) 歴史を考えれば地域差があるのは当然だと思う。急激な発展をしたベッドタウンなため、家にいる時間が少ない人が増えたまち。もともとあった共助のシステムが一気に人口が増えたことによって薄れてきたのかなと思う。今後の長岡京市の市としてのビジョンが見えてこない。道路も一向に整備されない。

コ) ビジョンについての話が出たが、今後みなさんにも市のビジョンという目線でも考えていただきたい。自分ごと化会議については、市の幹部職員などにも参加を促すのもいいかと思う。

委) 共助についてはどの部会でも出ているのだなという感想を持った。社会福祉協議会でも共助システムの弱体化の話は出ていて、同じような課題を抱えているが、具体的な対策は難しいと感じる。地道なサロン活動が大事だと感じるため、応援していければと思っている。

コ) サロンのように、普段から顔を合わせるなど、日常の延長戦上にあるのがいいのかな

と思う。共助を話すためには、まず公助がどういう状態なのかを知る必要がある。行政としてどこまでができるのか、どこまで支援できるのか。自助・共助・公助をセットで考えていく必要がある。

委) 自分たちのまちを、どんな生き生きとしたまちにしていけるかというポジティブな考え方をしていきたい。自分たちのまちのいいところを作っていくために、自分たちでできることをする雰囲気を作っていくべきだと思っている。

委) 各地区の自治会の温度差が大きいと思う。それに市がどう関わっていくかも重要な問題だと思う。要配慮者については、個人情報保護の問題がある。自治会が要配慮者のことをどこまで知っているのか。ケースバイケースで考えていくのがよいのでは。防犯カメラが付いたことにより、防犯の課題も解決されていると感じる。通学路でどれくらいの車両が通行しているかなどもチェックしてもらいたい。車のスピードを制限するなどして、子どもたちを守っていかなければと感じる。

PT) 生まれも育ちも長岡京市で、自治会はあって当たり前のものであった。通勤のときに通学の見守り隊の方をよく見かけるし、ありがたいと感じる。要配慮者については難しい問題。防災意識は時間がたてば薄れてしまう。法律や条例は、何かが起こってから改正することが多い。条例がいい方向に向かえばと思う。

コ) 当たり前というキーワードあった。共助の話で、自治会や地域コミュニティ協議会がなかったらどうなるかを考えてみるのもいいかと思う。

PT) 共助システムの弱体化はかなり前から言われていること。長岡京市の地域の活動はきめ細かくて、地域を大事にされているが故に行政も頼ってしまう。活動も多く地域の負担が大きくなっているのかなと思う。提案書の解決策のところに公助の見直しを書いてもいいのかなと感じる。

コ) 避難所などは市の職員だけでは運営できない。行政の職員は減っている。公助に期待してもできないこともある。共助と公助の関係性の整理が必要。

委) 要配慮者については、他の班も関係あることなのに2班ばかりが話しているのかなと感じた。子どもの下校の見守りをされている方はボランティア保険に入っているのか。事故があったときに困る。

委) 学校で見守り隊の名簿を作って市に提出している。保険にも入っている。

委) 子ども食堂は届出制？現状機能しているのか？

委) 子ども食堂は数年前からやりたいという声があり、始められたところがあるが、社協が把握している限りでは、個人で始められたところは活動が止まっており、ボランティアで子ども食堂をされているところは現状ない。届出や保健所の許可は不要となっている。

委) 自治会館の防災利用はできるのか。

市) 自治会が管理しているので、その取り決めによる。

委) 長岡京市の総合計画は今どうなっているのか。

コ) 総合計画については、以前は策定義務があったが、法律が変わり義務ではなくなった。

市) 現在は第4次総合計画(計画期間15年)の第2期基本計画(計画期間5年)。計画に対する評価も毎年行っている。

委) 長岡京市は若者が行く場所がない。スーパーばかり。市としてのビジョンは。

PT) 道路・河川担当としては、例えばJR長岡京駅東口の再整備の計画も進んでいて、賑わいの創出も検討している。

委) 先ほど要配慮者についてこの班でしか議論されていないという話があったが、「要配慮者」という言葉は災害時にひとりで避難できない方。高齢者だから要配慮者というわけではない。防災の用語。

コ) 障がい者や、日本語が分からない外国人も要配慮者となる。

委) 手助けをする人がいる場合は要配慮者ではない。

コ) 妊産婦は？

委) 妊娠期間中は要配慮者になる。手を挙げれば名簿にも載る。

コ) 妊産婦は期間があるので、名簿の更新が大変。

委) 手を挙げる方はあまりいない。

～休憩～

委) アゼリア通りの自動車の路上駐車に困っている。

PT) 市も把握はしている。駅前の広場がないので、送迎でそういったことが起きている。路面標示などで注意喚起をしているのが現状。

コ) 市は道路管理者になる。何らかの措置はできるのでは？

PT) アゼリア通りは府道になる。

コ) 道路についての情報は道路管理者にとってもありがたい。市と住民で共有できる仕組みはあるのか。

PT) LINEで道路について通報できる仕組みを検討中。

コ) 路上駐車は市民の意識の問題でもある。

委) バンビオ駐輪所は無料で使えていたが、駅の利用者が使うため、定期制になった。買い物等で使っていた方が使いにくくなり、正しく使っておられた方が不便になる結果になった。制度で規制する前に、個々で考えられることもあるのではないかな。

委) LINEの防犯灯通報について街灯の番号が見えないこともあるので、自由記入欄がほしい。4つの班それぞれで話をしているが、偏っている部分もあると思う。隙間の補完を考えてもらいたい。

委) 学園通りは30km制限だと思うが、みんなスピード出しすぎている。通学路でもあるため解決してほしい。

PT) 現在、歩道拡幅などを検討しているところ。

委) 道路で白線がかすれているところ改善してほしい。

PT) 順次対応しているが、予算のこともあり追いついていないのが現状。

- 委) 提案書の33ページ、防犯カメラのデータはどこで見える？
- 市) 中央で管理。カメラ本体には記録されない。
- 委) Wi-Fi 設置する補助金の制度を作るのがいいのではないか。避難所での Wi-Fi 環境は？
- 市) 避難所用の Wi-Fi 環境設備を用意している。補助金はない。

自分ごと化会議 前半戦を終えて

- 委) 防犯防災以外の意見も。自治会加入が2/3を切った。会長が回ってくるので、役目を果たせないで辞めるパターンがある。ある一定の年齢以上は約を免除するようにすると、子育て世代などからの反発もあった。難しい問題。仕事をしながらでもこなせるような役割の明確化をして、負担が集中しないような仕組み、活動の在り方を工夫していくことが大事なかなと思った。
- 委) 会議に出ると色々な気づきがある。参加してよかったと思った。
- 委) 地域という言葉のそれぞれのとらえ方が違う。自治会・地域コミュニティ・校区などのとらえ方がある中で、自治会のないところを探して引っ越してくる方もいたり、コミュニティを作らないということを決めている地域もある。
- 長岡京市としての方針を示す必要がある。
- 委) 自分にとって自治会のメリットとは何かと考えたとき、若い人にとってはメリットにつながらない現状がある。知らないことは知ろうとしなければ知らないまま。知ろうと思う市民を増やすことが大事だと思う。
- 委) 市のホームページ面白くない。市民が関心をもって知ろうとするためには面白いものでないといけないのかなと。市民の意識を高めるには、継続的に情報を発信して見える化を進める必要がある。
- 委) 自治会員の減少の対策。この会議を役立てたい。
- PT) 色々な目線を知ることができ勉強になる。道路の関係で意見をいただいたことは課に持ち帰り共有する。
- PT) 行政職員として課題を把握。行政として情報を発信しても伝わらないもどかしさがある。
- PT) 自分ごと化会議他の自治体での例も知りたい。防犯でいうと長岡京でも迷惑防止条例みたいに厳罰化するのがいいのでは。
- 委) マイナンバーの活用。社会全体で知らない人に声をかけられない雰囲気が問題では。
- コ) 自分が好きなものには関心をもって知ろうとすると思うので、長岡京市のファンを増やすことが大事。
- 行政が「伝える」と「伝わる」のギャップも課題。
- 市長を含め職員がこの場を見に来るような仕組みも大事。

(様式3)

好きなテーマであれば人は動きやすい。自治会というオールラウンドプレイヤーだけでなくそれぞれの得意分野を持つ集まりが活躍できるようになればいいのでは。